



WITH THANKS TO R.Chandler.

1/24 気候変動を《自分ごと》としてとらえよう  
チトセコ学ばさるプロジェクト

市民団体チトセコが主催する《チトセコ学ばさるプロジェクト出前講座》が、高台小学校の4年生を対象に開催されました。講座は、子どもたちに気候変動を自分ごととして理解してもらうことを目的とし、チトセコ代表の角谷 日花里さんが、CO2を減らすために何が出来るかをクイズ形式で紹介。児童からは、自分たちが出来る取り組みとして「マイボトルやマイバッグを持ち歩く」、「千歳産のものを食べる」などのアイデアが挙がりました。参加した齋藤 遥愛さんは「SDGsという言葉をよく聞くようになったし、環境問題が身近になってきたと感じる。自分にできる身近なことから環境を変えていけることに興味を持った」と話しました。



1/27 氷濤まつり来場者にご当地PR  
交流都市3市から訪問団が来訪



千歳・支笏湖氷濤まつりに参加するため、姉妹都市の鹿児島県指宿市、フラワー交流都市の富山県砺波市と高知県南国市から訪問団が来訪しました。一行は、プレオープンした氷濤まつり会場を訪れ、幻想的な氷のオブジェを見学するとともに、北海道特有の寒さを体験しました。翌日の氷濤まつり開催初日には、来場者に対し、それぞれの市の特色や特産品をPRしました。(右：指宿市 いぶすき菜の花大使 肥後 美咲さん、左：砺波市 プリンセスチューリップ 大塚 由香子さん)

1/5 生鮮食料品の安定供給と市場取引の活況を祈念  
公設地方卸売市場 初せり



今年最初のせり《初せり》が、千歳市公設地方卸売市場で行われ、山口市長をはじめ市場連絡協議会役員、買受人や来賓など、関係者約40人が出席。同市場連絡協議会 高木 博会長から「令和5年は新型コロナウイルスが収束し、経済活動が加速し、生鮮食料品の取扱いが増えることを期待している」との挨拶の後、三本締めが行われました。感染防止対策を徹底して行われた《初せり》では、買受人約15人が参加し、高級ブドウやミカン、大根やキャベツ、お正月用の七草など約25品目がせりにかけられました。

1/6 新たな歴史を刻む101年目、一丸となって邁進  
千歳市消防出初式



千歳市消防本部と千歳市消防団は、北ガス文化ホールで《千歳市消防出初式》を開催しました。出初式では山口市長による部隊観閲を行い、長きにわたって消防職務に貢献した職員や団員を表彰したほか、少年消防クラブへ敢闘賞を授与しました。消防職員による意見発表では、米森 有汰 消防副士長が「手首から届いたスタートコール」と題して、スマートウォッチから発せられた位置情報によって命が助かった事例を紹介し、「我々、消防職員がランナーとなって、命のバトンを何度もつないでいく」と決意を述べました。

1/8 再会の喜びを人生の節目に  
千歳市はたちのつどい



人生の節目となる20歳を祝う式典《千歳市はたちのつどい》が北ガス文化ホールで開催され、2部合わせて合計685人の若者が参加しました。式典は、はたちのつどい協働会議のメンバー3人が主となって企画。北海道日本ハムファイターズの選手からのメッセージ動画やお世話になった地域の方からのメモリーズムービー、恩師からのビデオレターなどが披露されました。会場の内外は鮮やかな振り袖とフレッシュなスーツで彩られ、参加者たちは友人との再会を喜び合っていました。



はたちのつどい協働会議メンバーの3人。前列左から 武田さん、井下田さん、鎌田さん。

人のうごき

《総人口》  
97,634人 (-5)  
男性 49,686人 (+22)  
女性 47,948人 (-27)  
《世帯》51,437世帯 (+25)

( )内は、前月との比較です。

2・1 現在

1/28 スポーツ分野での功績をたたえる  
千歳市体育協会スポーツ表彰式

千歳市体育協会が《スポーツ表彰式》を北ガス文化ホールで開催しました。スポーツ表彰式は、市のスポーツ振興に長年寄与した方や各種競技大会で優秀な成績を収めた方を表彰するもので、今年度は6団体59個人が表彰を受けました。《スポーツ賞》を受賞した福村 優大さん(立命館慶祥高校1年)は、男子4×400mリレー走で高校全道優勝を果たし、全国でも7位に入賞。「7位という結果には少し悔しい気持ちもあり、表彰してもらえるととは思っていなかった」としつつも、「全力を出した結果として入賞できたことが嬉しいです」と前を向きました。



広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係  
☎(24)0104 FAX(22)8851